NEWS RELEASE

平成 20 年 5 月 8 日

各　　位

会 社 名　日 本 Ｅ Ｒ Ｉ 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　鈴木 崇英
（JASDAQ・コード　２４１９）
問 合 せ 先
役職・氏名　広報・IR 部長　大塚 和彦
電話 ０３－３７９６－０２２３

平成 20 年 3 月期通期（連結・個別）の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.　連結業績予想の修正　（単位：百万円、%）

(1)平成 20 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,567	234	234	82
今回修正（B）	6,994	△ 221	△ 210	△ 346
増減額（B－A）	△ 573	△ 455	△ 444	△ 428
増減率（%）	△7.6	－	－	－
前期（平成 19 年 3 月期）実績	5,183	△ 1,084	△ 1,070	△ 1,161

2.　個別業績予想の修正

(1)平成 20 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,528	240	242	89
今回修正（B）	6,962	△ 212	△ 204	△ 341
増減額（B－A）	△ 566	△ 452	△ 446	△ 430
増減率（%）	△7.5	－	－	－
前期（平成 19 年 3 月期）実績	5,162	△ 1,067	△ 1,054	△ 1,188

（参考）1 株当たり予想当期純損失（通期）　13,639 円 18 銭

1 株当たり当期純損失につきましては、平成 19 年 10 月 25 日を払込期日とする第三者割当増資実施したことを踏まえた、期中平均株式数により算出しております。

3.　理由

平成 20 年 3 月期通期の連結業績について、売上高では 573 百万円の減少となる見込みであります。住宅性能評価業務、評定業務は予想を上回りましたが、確認検査業務が予想を大きく下回ったことが主たる要因によるものです。

当社グループでは、前期より引き続き審査体制の増強、審査方法の改善を進めましたが、改正建築基準法による混乱に伴い、確認検査業務が遅滞したことにより、中間期においては大幅な損失となりましたが、平成 19 年 10 月以降は確認検査業務の遅滞解消に努め、急速に受注が回復したことと、平成 19 年 9 月と平成 20 年 3 月に確認手数料の値上げを実施いたしました。

しかしながら、確認申請の混乱による影響が予想以上に長期に亘ったことにより、確認申請件数の回復が遅れ、特に、構造計算適合性判定が義務付けられた大型建築物への影響と、構造計算適合性判定機関業務への影響が予想よりも大きく、売上高が予想を下回る見込みとなりました。その結果、営業利益については 455 百万円の減少、経常利益については 444 百万円の減少、当期純利益については 428 百万円の減少となる見込みであります。

個別業績についても、上記と同様の理由により、予想との比較において売上高については、566 百万円の減少、営業利益については 452 百万円の減少、経常利益については 446 百万円の減少、当期純利益については 430 百万円の減少となる見込みであります。

(注)上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により上記予想数値と異なる場合があります。

以上